

3月

Mar. | 2025  
沖縄開教本部通信  
vol. 116



「ゆし豆腐」

沖縄県工業技術センター 豊川哲也

※「ハイサイ」…沖縄の言葉で「こんにちは」のこと

沖縄の食文化第2回目です。前は、沖縄の豆腐は本土の豆腐と比べて固くて弾力があり、温かいまま流通していること、沖縄県民はこれを「島豆腐」と呼んで誇りにしているというお話をさせていただきました。

今回は、沖縄県民が島豆腐と同じくらい愛してやまないもう一つの豆腐、「ゆし豆腐」を紹介させていただきます。ゆし豆腐というのは、ざっくり言うと島豆腐を作る過程の途中の豆腐で、型に入れて固める工程を省いたものです。固めるまえなので、島豆腐とは逆にフワフワとして、なめらかな食感の豆腐です。本土のおぼろ豆腐に近いものといえるでしょう。

この「ゆし豆腐」の食べ方ですが、カツオ出汁にこのゆし豆腐を放り込み少々の塩か醤油で味を調整して、どんぶり茶碗でいただきます。薬味にネギがあるとなおよいですね。

さて、このゆし豆腐、ひとくち口に入れると、フワフワのアツアツの豆腐とも違う柔らかなめらかな塊が唇を通過し、それを噛む、いやいや、舌と口蓋で押しつぶしていくと豆腐とだし汁の甘み、うま味、塩味が口いっぱいひろがります。そして飲み込むと大豆の香りが鼻に抜けていくという3段階の至福が味わえます。

な塊が唇を通過し、それを噛む、いやいや、舌と口蓋で押しつぶしていくと豆腐とだし汁の甘み、うま味、塩味が口いっぱいひろがります。そして飲み込むと大豆の香りが鼻に抜けていくという3段階の至福が味わえます。



ゆし豆腐

沖縄の食堂でゆし豆腐というメニューを頼んでみてください。写真のようにゆし豆腐がドーンと乗ったお盆が運ばれてくるはず。どうですか、この存在感。たとえ、ここに刺身があっても主役はゆし豆腐だということがわかるかと思えます。

実は、韓国や中国でも同様な食品があります。韓国はおなじみのスンドゥブ、漢字で純豆腐、ハングルで全두부。豆腐チゲと混同さ

れがちですが、チゲが木綿豆腐や絹ごし豆腐などが使われ辛味のある鍋料理であるのに対し、スンドゥブはゆし豆腐と同じ固めるまへの豆腐が使われます。また、中国や台湾では鹹豆漿という、豆乳を酢で固めるスープがあり、朝ごはんとして良く食べられています。こうした、豆腐食品を食べると中国を起源とした豆腐の伝播が目に見えるようでとても面白いですね。



スンドゥブ

記事の寄稿者

氏名… 豊川哲也  
所属… 沖縄県工業技術センター



自己紹介…公設試験研究機関の一員として県内企業の食品開発のお手伝いをさせていただいています。沖縄の食品は近隣諸国の文化の影響をうけてとても多様です。そうした伝統食品を現代生活に活かせるような開発ができればと思っています。

## 成道会 報告

二〇二四年十二月七日、沖繩別院にて「成道会記念講演」、沖繩菩提樹苑にて「成道会法要」が勤まつた。また講演に先立ち、北海道苫小牧市より、カンツォーネカンパーニャと真宗大谷派有志による仏教賛歌の演奏があり、素晴らしき歌声が本堂に響き渡った。

記念講演は、大谷大学非常勤講師の山内小夜子氏にお話しいただいた。

## 沖繩は今!

### 米兵に対する抗議

#### 県民大会

二〇二四年十二月二十二日、米兵少女誘拐暴行事件を巡って、沖繩市市民会館大ホールで「米兵による少女暴行事件に対する抗議と再発防止を求める県民大会」が開かれた。会場に入りきれずロビーまであふれかえり、東京や大阪など、県外でも連帯の集会が開かれた。

大会であいさつに立ったデニー知事は「二度と被害者を出さないように、軍の

今年、戦後八十年をむかえるにあたり、「終わりなき歩みを共に」という講題で、お釈迦様の「殺してはならぬ」「殺させてはならぬ」の言葉から、戦争や沖繩が抱える基地問題についてお話をいただいた。

聴聞にいられたご門徒で満堂の中、皆さんそれぞれに考えさせられる内容であった。

規律も厳しく求める。一個人の責任にしない、軍そのものの構造的な責任も求めている。差別構造そのものが事件を生むのであるならば、その構造はもはや地域と相いれないという、われわれの強い反対の意見を伝えておかななくてはならない」と訴えた。

大会では、被害者への謝罪と補償、二次被害の防止、関係自治体への速やかな情報提供、日米地位協定の抜本改定を求め、大会決議を参加者全員で採択した。

## 【コラム】 自己が問われ、社会が問われる沖繩、日本、世界

門徒総代 照屋 隆司



たくさんのご同朋に支えられて、三十を過ぎたばかりの頃から教えを聞かせていただいております。その歳月を通してひとつの疑問を持っています。すべての衆生を救わずにはおれないという平等（水平）の御心に照らされる浄土真宗は、宗派としては国内最大であるのに、なぜ日本はこんな国になっているのだろうか？

法蔵菩薩が私たちのために立ち上げられたのは、人間社会をこのまま放っておけないという御心からであったと思います。初めて四十八願を知った時の率直な所感「社会建設の課題が弥陀によって示されている」ということでした。

「浄土の教えを社会の批判原理にしてはいけない。独善的な危うさをはらんでしまうから」という考え方がありますが、私は浄土の教えこそ、私たちに社会の在り方を照らす批判原理であると感じられてなりません。それが危うくなるとしたら、自己と社会を分離して、自己を棚上げにしている時ではないでしょうか？

自己が社会を形成し、社会の中で自己が生かされている。自己を問うならば、自ずと社会をも問わざるを得ず（社会に責任を持たざるを得ず）、社会を問うことで自ずと自己が問われ反される。親鸞聖人の教えをいただくということは、そのような大地に生まれさせていただくということではないかと思えます。

昨年、能登を大地震が襲いました。聞いたところによると、かつて珠洲市がターゲットにされた原発建設を粘り強い運動により阻止したのは、その地の大谷派の念仏者の方々に、住民が座り込む現場には念仏の音が響いていたそうです。これこそ、法蔵菩薩の信念の顕現ではなかったでしょうか。賛否が分かれる問題には触れないとしたなら、何のために今日まで仏教が伝えられてきたのでしょうか？

東本願寺・真宗大谷派は、人間解放という願いのもと、被差別部落、靖国、ハンセン病の問題に取り組んでこられました。その理由は、かつて当派はこれらの加害の側にいた、その慚愧あるがゆえにと聞きました。その慚愧は、人間社会の批判原理である本願に照らされずには起こり得ないことではなかったでしょうか？

誰かを犠牲にした平和や繁栄など偽物でしかない。真宗教団が沖繩の状況を放っておけるはずはないと信じます。生活者の一人として基地の異常集中に抗議しながら、私も過ちや挫折を繰り返しています。それも浄土の縁。絶望はしません。

南無阿弥陀仏

